

平成30年度上半期 ディスクロージャー誌

(平成30年3月1日～平成30年8月31日)



肝付吾平町農業協同組合

 育てよう明日を
JAグループ鹿児島

肝付吾平町農業協同組合

I. ごあいさつ

いつもJA肝付吾平町をご利用いただき、ありがとうございます。

当JAは、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会づくりのお役に立てるようリレーションシップバンキング（長期的な信頼関係にもとづく金融業務）の機能強化に向け取り組んでおります。

この小冊子は、皆さま方の当JAに対するご理解を更に深めていただくため、自主的に、平成30年度上半期における事業実績と地域貢献活動等の情報をディスクローズ（開示）したものです。

ぜひ、ご一読いただき、より一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月

肝付吾平町農業協同組合

代表理事組合長 今吉 幸夫

II. 当JAの概要〔平成30年8月末現在〕

名 称	肝付吾平町農業協同組合
役職員数	97人
組合員数	正組合員752人 准組合員897人
出 資 金	332百万円
貯金残高	12,526百万円
貸出金残高	2,513百万円

店舗一覧

店舗名	住 所	電話番号	CD/ATM 設置台数
本 所	鹿屋市吾平町麓3338番地4	0994- 58-6511	1台

組合員組織の状況

平成30年8月末現在（単位：人）

組織名	構成員数	組織名	構成員数
かぼちゃ部会	36	そらまめ部会	8
さつまいも部会	15	水稲部会	171
ピーマン部会	24	なす部会	5
園芸女性部	13	ごぼう部会	25
美里吾平倶楽部	97	畜産振興会	111
老いどんが倶楽部	43	養豚振興会	9
青年部美里会	21	女性部	74

当JAの組合員組織を記載しています。

Ⅲ. 開示項目

1. 金融再生法開示債権（単体）

（単位：百万円）

債権区分	平成30年8月末	平成30年2月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	18	20	▲2
危険債権	40	48	▲8
要管理債権	0	0	0
小計	58	68	▲10
正常債権	2,461	2,447	14
合計	2,519	2,515	4

（注記）

注1：破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、更生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。（以下「破産更生債権等」という。）自己査定では、破綻先債権及び実質破綻先債権にあたる。

注2：危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財務状況及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権。自己査定では、破綻懸念先債権にあたる。

注3：要管理債権

自己査定において要注意に区分された債務者に対する債権のうち、3ヶ月以上延滞貸出債権及び条件緩和貸出債権。

注4：正常債権

債務者の財務状況及び経営成績に特に問題がない債権であり、破産更生債権等・危険債権及び要管理債権以外の債権をいう。

2. 単体自己資本比率（国内基準適用）

平成30年8月末	平成30年2月末
18.17%	19.17%

(注記)

「単体自己資本比率」は、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（平成18年金融庁・農水省告示第2号）（バーゼルⅢ）に基づき算出しております。

3. 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	平成30年8月末	平成30年2月末	平成29年8月末
貯金	12,526	11,934	12,906
貸出金	2,513	2,509	2,607
預金	9,765	9,237	9,493
有価証券	0	0	0

IV. 地域貢献活動

当JAは、鹿屋市吾平町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営されている協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当JAの資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としております。当JAでは資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当JAは、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

◇「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦

「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」を達成するため、増加している加工・業務用需要を取り込むべく、外食・中食業界に対する直接販売に取り組みます。また、生産資材価格の引き下げを実現するため、競合するホームセンター等の商品の価格・品質を把握し、同等の商品でJAの取扱価格が高い場合は、仕入先との協議等を行い、弾力的に価格・手数料設定を見直し、生産資材価格の引き下げに取り組みます。

◇「地域の活性化」への貢献

総合事業（営農・経済、生活・購買、信用、共済、販売、利用等）を通じて、組合員と地域住民の生活インフラの一翼として役割を發揮します。

◇健全経営の取り組み

「健全な経営体質」と「透明感のある組織運営」を構築するため、財務体質の健全性向上に努め、リスク管理態勢の確立とコンプライアンスを重視した職場づくりに取り組みます。

農協法の理事構成要件の改正も踏まえ、業務執行体制を見直し、地域農業の担い手や実践的な能力を有する者の登用拡大に向けて取り組んでいます。

自ら策定した自己改革の取組施策を着実に実践するため、経営資源のシフトまた、人材育成を通じ、営農・経済事業の体制を強化します。

1. 地域からの資金調達の状況

(1) 貯金残高

当JAでは、組合員はもちろん地域住民の皆さまや事業主の皆さまからの貯金をお預かりしています。

【貯金残高 12,526百万円】

(2) 貯金商品

【貯金為替】

鹿屋市収納代理金融機関として、組合員・市民の負託に応えるため、サービスを基本に地域に密着した信頼されるJAバンクをめざしています。

- ① 年金獲得・定期貯金推進により、低コスト資金の調達に努めています。
- ② 各種税金・給与振替・公共料金・水道料金・汲取料等の総合口座への家計メイン化を図っています。
- ③ 県下統一キャンペーンを実施し、新規利用者拡大に努めています。
 - ・ 年間を通して、一職員一件獲得運動を実施し、年間100件を目標に、新規獲得及び指定替推進により、年金取引拡大に取り組んでいます。
 - ・ サマーキャンペーンを6月から7月の2ヶ月間実施し、定期貯金3億円（純増10千万円）を目標に、個人貯金の増強に取り組んでいます。
 - ・ ウィンターキャンペーンを11月から12月の2ヶ月間実施し、定期貯金4億円（純増12千万円）を目標に、冬のボーナスを中心に貯金残高の拡大に取り組んでいます。
- ④ 年金友の会員のふれあい活動として、年金友の会の集い・ゴルフ大会・グラウンドゴルフ大会や、Aコープ・給油所・本所窓口での年金友の会員デーを実施し、会員サービスの充実に努めています。
- ⑤ 組合員・地域住民に喜ばれる、明るい窓口づくりに努めています。
- ⑥ 各種研修会への参加や資格の取得に努めるとともに金融コンプライアンスを含めた課内会議を毎月実施し、専門的知識の向上に努めています。

2. 地域への資金供給の状況

(1) 貸出金残高

組合員への貸出をはじめ、地域住民の皆さまの暮らしや、農業者・事業者の皆さまの事業に必要な資金を貸し出しています。

また、地方公共団体、農業関連産業などへの貸し出し、地域経済の質的向上・発展に貢献しています。

[貸出金残高：人格別]

貸出金残高	2, 5 1 3 百万円	
うち組合員等	1, 1 0 8 百万円	4 4 . 0 9 %
うち地方公共団体等	1, 3 8 7 百万円	5 5 . 1 9 %
うちその他	1 8 百万円	0 . 7 2 %
貯金残高に占める貸出金の割合		2 0 . 0 6 %

[貸出金残高：使途別]

貸出金残高	2, 5 1 3 百万円	
うち設備資金	2 4 4 百万円	9 . 7 1 %
うち運用資金	1, 4 7 4 百万円	5 8 . 6 5 %
うちその他	7 9 5 百万円	3 1 . 6 4 %
貯金残高に占める貸出金の割合		2 0 . 0 6 %

(2) 制度融資の取扱い状況

鹿児島県や当 J A 管内の市町村と協調して、借入者の負担が少しでも軽減できる制度融資も取り扱っています。

資金名	取扱実績	制度の概要
農業近代化資金	1 5 0 百万円	農業者等が高度化及び近代化を図るために、必要な資金を国及び県の助成（利子補給）により低利で融資。
農業経営負担軽減支援資金	3 百万円	農業経営の改善を積極的に推進しようとする農業者に対して、その障害となっている既存債務の負担軽減を図る融資。
畜産特別資金	5 2 百万円	上記と同じ
肉用牛維持拡大改良資金	6 百万円	肉用牛の導入、維持、拡大、改良に必要な資金を市、当農協の助成（利子補給）により、低利子で融資。

(3) 融資商品

自己責任原則や情報公開による金融機関の自己選択等、金融機関の情勢が大きく変化するなかで、組合員及び利用者へのサービスと大切な資金を有効に活用して、信頼される事業を展開しています。

① 生活関連資金の普及拡大に努めています。

- ・ J Aオートローン (自動車・バイクの購入、購入に付帯する諸経費、修理、車検等)
- ・ J Aマイカーローン (自動車・バイクの購入(中古車を含む)、点検、修理、車検、車庫建設資金等)
- ・ 新マイカーローン (新車・中古車・自動二輪車、用品購入資金、車検、修理等)
- ・ J A住宅ローン 固定変動選択型
(3年・5年・10年・15年・20年固定金利)
(変動金利)
- ・ 共済還元資金 (共済証書担保貸付金)
- ・ 教育ローン (高校・専門学校・大学)

② 各種展示会において金利軽減を設定して、融資拡大を図っています。

農業祭・各種展示会・県下統一展示会

③ 肉用牛の維持拡大のため、低金利資金の普及拡大に努めます。

子牛の場合	50万円を限度として融資期間	5年
成牛の場合	70万円を限度として融資期間	3年

④ 農業関連資金は、長期低利の制度資金を活用しています。

農業近代化資金・農業経営負担軽減支援資金

⑤ 不良債権比率目標達成に向けた取り組みを強化しています。

固定化債権防止策として、審査室が融資時の審査を徹底して延滞防止を図るとともに毎月、債権対策幹事会を開催して回収方策を協議し、回収を徹底しています。

3. 文化的・社会的貢献に関する活動

(1) 文化的・社会的貢献

高齢化・荒廃地等が進展するなか、農業生産力の維持拡大を図るため、農業管理センターで農作業の受委託、農地の斡旋、人材派遣を行っており、組合員・利用者の方々に大変喜ばれています。

生活面においては、購買課・燃料機械センター・Aコープ・オートパル・給油所・フラワーJA等で生活資材・農機具・ガス・食料・自動車・燃料等の生活用品を組合員・地域住民の方々に、安心して安全な商品を安価で供給しています。

ルミエールでは、福祉事業の一環として、地域に密着した「感動の人柄葬」を提供しています。

Aコープでは、青少年健全育成の一環として、各スポーツ少年団へ会員カードの利用度に応じて活動助成を行うとともにJAで年金を受給される年金友の会員の方々等に対して、毎週木曜日、粗品を進呈しています。また、移動販売車「走る・Aコープ」による移動販売を行っており、曜日毎に各町内会で販売をしています。

なお、地域協同組合として、平成30年度も町内会へ100万円（10町内会×10万円）の活動助成金を支給し、地域農業発展と組合員並びに地域住民の健康増進、地域活性化のために役立てていただいています。

《 主な文化的・社会的貢献活動 》

- 始良川クリーン作戦
- 交通安全街頭キャンペーン
- 学校給食への地元農産物の提供、食農教育の開催
- 地域行事への参加
- 地域の清掃活動(地域の環境保全、景観保全)
- 各種農業関連イベントや地域活動への協賛・後援
- 各種ボランティア活動への参加
- 日本赤十字社の献血への参加
- 育てよう笑顔プロジェクト清掃活動(CSR)の実施

(2) 利用者ネットワーク化への取り組み

- 5月19日 第5回年金友の会ゴルフ大会
- 6月 8日 年金友の会バスツアー
- 11日
- 7月22日 第25回農涼祭
- 7月26日 第37回農業者年金友の会総会開催
- 9月27日 第19回年金友の会グラウンドゴルフ大会開催

(3) 情報提供活動

定期的にJA広報誌「つばさ」の発行及びホームページを更新し、地域の情報やJAならではの暮らしに役立つ情報を提供しております。

《 当JAホームページアドレス 》

<http://www.ja-k-aira.jp/>

(4) トピックス

- | | |
|----------|--|
| ① 貯金為替課 | 県下統一ウィンターキャンペーン（11月～12月）
県下統一年金キャンペーン |
| ② 共済課 | 終身共済・医療共済・こども共済・年金共済
生活障害共済・自動車共済・建更むてきプラス |
| ③ 購買課 | アクアクララ（健康水）販売・シロアリ駆除・住宅塗装・
くみあい家庭薬 |
| ④ 農機具・ガス | 各種展示会の開催、トラクター等の無料一斉点検 |
| ⑤ 給油所 | 毎週水曜日 レディースデー開催
タイヤ・オイルキャンペーンの実施 |
| ⑥ オートパル | 各種展示会の開催、スピード車検、カーエステ「早い・
安い・安心・きれい」 |
| ⑦ Aコープ | 営業時間 午前9時 ～ 午後8時
地産地消「安心・安全・新鮮」 冷凍食品半額等
移動販売車「走る・Aコープ」営業日 月曜日～金曜日
運行時間 午前9時30分～午後4時 |
| ⑧ 企画管理課 | JAグループ鹿児島 総合ポイント制・組合員加入促進 |
| ⑨ フラワーJA | 生花・造花等 アレンジ販売 |